

(1月)

- ・東海駅頭での議会報告
- ・東海村賀詞交歓会
- ・成人のつどい
- ・消防出初式
- ・地域後援会総会&村政報告会
- ・勝田マラソン給水ボランティア

(2月)

- ・会派での行政調査(大阪府熊取町)
- ・住吉神社 節分祭
- ・村民の声に耳を傾ける会
- ・民主党茨城県連 定期大会
- ・町村議員 自治研究会

(3月)

- ・3月定例会(3/1~3/25)
- ・東海南中卒業式
- ・災害ボランティア活動

※3/13(日)須和間集会所にて村政報告会を開催する予定でしたが、震災直後であり勝手ながら中止とさせて頂きました。

勝田マラソン給水ボランティア



原研通りの県信前18km地点にて、日立労組日立支部の通勤会の皆さんと共に、第59回勝田全国マラソンの給水ボランティアを実施しました。

今年一番の寒空の下、約11,000名がフルマラソンに挑戦、用意したキンカンやチョコレートがあつという間に無くなってしまった。

災害ボランティア活動



大震災を受け、東海村社会福祉協議会に設置された災害ボランティアセンターに登録し、独居高齢者宅の倒壊した塀の除去や物置の片付け等のお手伝いを実施しました。

一緒に活動した高校生たちの生き生きとした表情がとても印象的でした。

わかば通信

東海村議会議員

越智たつや

議会報告



第13号

発行人：越智たつや後援会

日立市幸町2-13-6
(日立製作所労働組合 日立支部内)
TEL 0294(22)3004
FAX 0294(23)2629

日頃のご支援に感謝申し上げます。

また、このたびの「東北地方太平洋沖地震」により被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げます。

住民の皆さまの笑顔が1日も早く取り戻せるよう、東海村の復旧に向け精一杯頑張ります。

越智辰哉

NEWS

～ 東海村行政の身近なニュースをお伝えします～



災害復旧に向け、一歩ずつ前進しています



3月11日、マグニチュード9.0の「東北地方太平洋沖地震」が発生し、東日本各地で甚大な被害に見舞われました。この巨大地震は、東海村においても、電気や水道等のライフラインの一時的な停止、公共施設や一般家屋などにも大きな傷跡を残しました。

東海村災害対策本部では、道路の段差や陥没等の応急処置としての復旧作業を順次進めると共に、今後は損傷した公共施設の本格的な復旧にも取り組んでいきます。

村や行政だけでなく、地域住民の皆さんと一緒にとなって取り組むことが、東海村の復旧への近道です。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



VOICE

～リレーで継ぐ村民の声～



塙 康弘さん
(須和間在住)

私が生まれ育った東海村に引越してきて、9年が経ち幼い頃の記憶とは違い、東海村も随分さま変わりをしました。

そんな中、となり町で生まれ育った娘達も、今では小学校に通うまでになりました。そんな娘達に将来どこに住みたいのかと聞いてみたところ、「東海村」と答えてくれました。

親として、地域住民の一人として、今後の東海村(須和間区)を担うような子供に育つよう、積極的に地域のボランティア活動等に、参加させて行きたいと思い、自らお手本となって見せることに、悪戦苦闘する毎日を送っています。

越智議員には、住みやすい東海村にして頂けるようお願いします。

編集後記



3月14日は長女の5歳の誕生日。いつもなら、ケーキを囲んで一家団欒のひと時を過ごすのだが、今年の誕生日は一味違った。

3月11日の地震の影響で、ライフラインは休止状態。食品庫に残っていた食材と給水所で頂いた水でホットケーキ作りに挑戦。もちろん火種はカセットコンロ。近所の子供たちも集ってきて、賑やかな誕生パーティに様変わり。不便な生活の中にも笑顔が溢れたひと時であった。

今まで当たり前のように使っていた電気や水が無い生活を経験した子供たち。震災によって失ったものもたくさんあるが、得たものも大きかったのではないか。

<N.>

震災に関連したトラブルにご注意下さい



- ・義援金などを口実に、銀行の口座番号などを聞き出そうとする電話
- ・電力会社の職員を名乗り、故障の修理費などを請求する詐欺
- ・ガス会社の作業を装い、修理代金を騙し取ろうとする詐欺
- ・屋根瓦の修理に補助金が出るとの虚偽の勧誘や高額な修理契約など



平成23年度予算審議

災害復旧を最優先～新年度予算を速やかに可決



平成23年3月定例会を、3月1日から3月24日までの会期で開きました。

今議会では、平成23年度予算案を中心に38項目の議案が提案されましたが、会期中の11日に大地震に見舞われました。議会としては、村行政が災害復旧に向けた諸活動を最優先に取り組めるよう、簡素化した審議を行うことを申し合わせ、議案すべてを原案どおり、速やかに可決しました。

平成23年度の一般会計予算は、181.5億円であり、村立図書館の増改築、照沼小学校の改築など大規模な公共事業を含めた予算が編成されました。

また、平成23年度が東海村第5次総合計画の初年度であることから、この計画の重点施策である「生物多様性促進事業」「原子力センター構想」など新しい事業も盛り込まれていました。

本来、新年度予算は、個々の事業について予算委員会において集中審議します。しかし、当初予算はあくまでも被災前の状況下での予算編成であることを考慮し、簡略化した審議を行うと共に、役場執行部に対して要望を添えて当初予算に賛成しました。



Point!



新年度予算を可決するにあたり、会派(新和とうかい)として以下を要望しました。

- (1)当初予算に計上された各事業について、再度、緊急性の度合いを検討すること
- (2)緊急性が低いと判断された事業については、予算執行を控え、住民生活に直結するライフラインおよび学校施設など公共施設の復旧に向け、優先的に予算執行すること
- (3)災害復旧に向けた補正予算を早急に策定すること

これに注目!

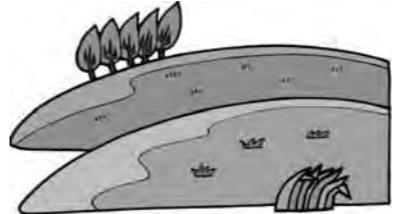
平成23年度新規事業

駐車場整備管理事業(1,147万円)



駅西口のバス停空きスペースに公営の時間決め駐車場(10台分)を整備し、電車や駅ギャラリーを利用する人の駐車場を確保する。

部原地区土地利用推進事業(3,500万円)



昭和48年に工業専用地域に都市計画決定されたが、基盤整備がほとんど施されず、農地や山林として放置されてきた。そこで、5年程度を目途に土地の有効利用を図る新たな計画に基づき、調査測量を実施する。

東海中学校建設事業(4億2,300万円)



東海中に隣接する用地(約24,000m²)を村が買収し、手狭になっていたグラウンド用地を拡張する。

地域公共交通のあり方に関する検討会議(50万円)



デマンドタクシーの増車により住民ニーズに対応してきたが、今後の新しい地域公共交通のあり方について検討する。

議会で取り上げてきた内容が予算化されました!



※被災前の状況下での予算であり、災害復旧の進捗によって事業計画が見直しとなる可能性があります。

Point!



「消防の広域化」について
住民への丁寧な説明を求む

今議会において、平成24年度から予定されている「ひたちなか市との消防の広域化」が大きな話題となりました。

村役場としては、広域化により総合的な災害対応能力の強化につながる、として協議を進めていますが、東海村の救急車や消防車がひたちなか方面に出動することとなり、村民の住民サービス低下が懸念されています。

本件については、住民に対してほとんど説明がなされていないことから住民への説明会を実施し理解を得るよう要望しました。



Point!



東海第2原発の被災状況説明
「護岸かさ上げ奏功」

議会特別委員会では、3月23日、日本原電東海第2原発の被災状況の説明を受けました。

地震直後には、原子炉が正常に自動停止。その後、非常用電源3台のうち1台が海水ポンプの故障で使用不可となったが、残り2台で電源を確保し、原子炉の冷却系統が順調に機能した。防波堤の役割をする護岸を4.7mから7.2mにかさ上げする工事が功を奏したとのことでした。

現在も、安定的な冷温停止状態を保っていますが、今後も津波対策だけでなく、非常時における電源確保や冷却方法の改善を図り、発電所の安全性を向上させて頂きたいと考えます。



(日本原電ホームページより)